

なかむら実

“ふるさとちば”のための政策推進を

中村みのる県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411



登壇し、一般質問を行う中村実県議

中村議員 政党機関紙「しんぶん赤旗」の購読は、各所属において、本場に必要なものか、はなはだ疑問を抱いている。そこでうかがうが、「しんぶん赤旗」の本年6月1日時点の購読部数はいくらか。

総務部長 各所属では、県政を推進する上で、様々な機会や方法等を通じて、必要な情報収集を行っているところである。

中村議員 昨年10月17日の決算審査特別委員会では、知事部局、教育庁及び議会事務局の購読部数を119部と答弁したところですが、これは事実か。

総務部長 昨年10月の決算審査特別委員会において、知事部局、教育庁及び議会事務局の購読部数を119部と答弁したところですが、これは事実か。

中村議員 平成29年、文書館において、主に大東亜戦争に関する歴史公文書91冊が廃棄されていた事実が判明した。後世に継承するため、永久に保存されるはずであった歴史公文書、大東亜戦争に従軍された先人の情報が記録された文書の廃棄はあってはならない。廃棄されてしまった91冊の歴史公文書については、29年6月定例会議会の総務防災常任委員会における私の質問に対し、厚生労働省国立公文書館などへの調査を行っているとの答弁があった。調査開始から3年、改めて現在の進捗状況を確認する。

中村みのるプロフィール

経歴

- 昭和42年9月生まれ
西海神小、葛飾中、県立八千代高、中央大学法学部法律学科卒業
- 平成3年4月 住友重機械工業入社
- 平成11年4月 船橋市議会議員
初当選(4期連続当選)
- 平成27年4月 県議会議員初当選
(2期連続当選)

現職

- 県議会 環境生活警察委員会委員長

6月定例会議会一般質問

しんぶん赤旗

公費による購入部数

120部(昨年4月)から55部(今年6月)に

自らの信念に従って積極的な政治活動を展開する中村実県議は、改選後、初の定例会議会となる6月定例会議会一般質問を行い、さまざまな県政の課題について県政の取り組みや考え方を質問しました。千葉のさかなイメージアップのための千葉ブランド水産物の質問に森田知事は、現在、29品目が認定されていると述べ、トップセールスなどで千葉のさかな全体のイメージアップを図っていると答弁しました。また、中村議員の質問に対し、今年6月1日現在、県庁内で55部の政党機関紙「しんぶん赤旗」が購読されていることが明らかになりました。

今回、議会事務局からの調査依頼に基づき、知事部局及び教育庁の本庁各課並びに議会事務局における「しんぶん赤旗」の購読部数を調査したところ、令和元年6月1日現在で55部でした。

中村議員 平成29年、文書館において、主に大東亜戦争に関する歴史公文書91冊が廃棄されていた事実が判明した。後世に継承するため、永久に保存されるはずであった歴史公文書、大東亜戦争に従軍された先人の情報が記録された文書の廃棄はあってはならない。廃棄されてしまった91冊の歴史公文書については、29年6月定例会議会の総務防災常任委員会における私の質問に対し、厚生労働省国立公文書館などへの調査を行っているとの答弁があった。調査開始から3年、改めて現在の進捗状況を確認する。

中村議員 平成29年、文書館において、主に大東亜戦争に関する歴史公文書91冊が廃棄されていた事実が判明した。後世に継承するため、永久に保存されるはずであった歴史公文書、大東亜戦争に従軍された先人の情報が記録された文書の廃棄はあってはならない。廃棄されてしまった91冊の歴史公文書については、29年6月定例会議会の総務防災常任委員会における私の質問に対し、厚生労働省国立公文書館などへの調査を行っているとの答弁があった。調査開始から3年、改めて現在の進捗状況を確認する。

文書館廃棄の歴史公文書

80冊分、同様情報確認

国立公文書館などへ

中村議員 執行部において購読部数を減らすこととした判断は適切で、公平な県政を求める県民の失われた信頼を取り戻す第一歩と考える。時代に逆行し、後戻りすることなどないよう要望する。

中村議員 庁舎内で新聞の購読勧誘、配達、集金が行われていた自治体があったとの報道があり、このことは庁舎管理の点からも懸念されることであります。配達については、一般紙と同様に届けられ、購読勧誘集金も庁舎内で行われることなく、また、購読の継続及び打ち切りも所属の判断であるとの認識で良いか。

総務部長 配達については、本庁舎1階の所定の新聞用ボックスに届けられており、集金については、口座振替により支払われています。

また、購読については、各所属が情報収集の必要性により判断しており、購読を継続あるいは中止する場合も、各所属において判断しています。

中村みのる県議会報告

月曜日 市内各駅

水曜日 JR船橋駅

金曜日 西船橋駅

火曜日 下総中山駅

木曜日 JR津田沼駅

時間はいずれも午前6時30分～8時30分(公務のために変更の場合もあります。)

道徳の補助教材 無断回収・廃棄

中村議員 平成31年2月8日、特別支援学校の授業で配布した道徳の補助教材を校長らが無断で回収・廃

棄するといふ新聞報道があった。補助教材の活用と授業後の対応の認識しているのか。教育長 国の通知により、学校における補助教材の適

正な取り扱いが求められているところであり、補助教材の内容及び取り扱いに関する留意事項として、「教育基本法等の法令の趣旨に従っていること」、「児童生徒の発達段階に即していること」、「特定の見方や考え方に偏った取り扱いをしていないこと」等が示されていること。ご指摘の件について、校長は、「当該補助教材は特定の見方や考え方に偏った取り扱いとなっており、多様な見方や考え方ができるような十分な配慮がなされていない」と考え、その補足

さらに回収を指示したものと承知しております。また、校長は、その理由や経緯等を説明することなく、無断で生徒のファイルから当該補助教材を回収したことから、生徒や保護者に謝罪を行ったものと承知しております。

また、校長は、その理由や経緯等を説明することなく、無断で生徒のファイルから当該補助教材を回収したことから、生徒や保護者に謝罪を行ったものと承知しております。

千葉ブランド水産物 29品目を認定

中村議員 県では「千葉ブランド水産物認定制度」を平成18年度に創設した。船橋市漁協からも平成27年度に「江戸前船橋瞬みず

き」が、また、平成29年度には「三番瀬ホンビノス貝」が千葉ブランド水産物として認定され、船橋市も生産者とともに積極的にPR活動を行い、知名度向上と販路拡大に努めている。

一方、消費者から信頼される千葉ブランド水産物であり続けるためにはブランド力を維持し、さらに高めていくため努力が求められている。そこでうかがうが、千葉

ブランド水産物の認定状況はどうか。また、認定後の進展はどうか。

知事 県では、全国に誇りうる優れた県産水産物を千葉ブランド水産物に認定し、千葉の豊かな全体のイメージアップを図っているところであり、現在の認定数は29品目となっています。

認定後は、トップセールスや、量販店等でのフェアの実施、パンフレットやメディアを活用した情報発信により、消費者に積極的にPRするとともに、飲食店などを対象とした商談会や、市場関係者への試食会の開催など販売促進に努めています。

また、事業者が千葉ブランド水産物認定マークを使用した販促資材を作成する際に要する経費に助成しています。



議場の自席で再質問を行う中村県議

千葉の豊かなイメージアップ

県産の農林水産物 五輪はPRの好機

再質問

中村議員 県は、東京オリンピック・パラリンピック大会を契機とした県産農林水産物のPRにどのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 県としては、来訪者が利用するホテルやレストランなどで県産品を使ってもらえるよう、バイヤーやシェフを招いて生産者とマッチングする商談会や産地視察会を開催したり、県内外での販売促進活動やメディアなどを通じて情報発信をしたりしながら、県産品ができるだけ多くの人の目に触れ、楽しんでいただき、それが大会後の消費拡大などにつながっていくよう、そういった取り組みを行ってまいりたいと考えています。

中村議員 本県は、全国に誇れる全国に誇れる品目が数多くある食の宝庫。生産者も独自に様々な取り組みを行い、東京オリンピック・パラリンピックを見据えてアピールしている。県でも、生産者と連携し、積極的に情報発信をすることで県産農林水産物のPRに努めるよう要望する。

小中の男女別出席簿 前回調査よりも増加

県内公立学校

中村議員 県内公立学校児童生徒の出席簿における男女別名簿の使用状況はどうか。

教育長 出席簿の取り扱いについては、各校長や市町村教育委員会が、児童生徒を把握する上で、利便

性に応じて判断しており、本年4月現在の県内公立学校の出席簿における男女別名簿の使用状況は、小学校が29.6%、中学校が58.0%、高等学校が2.8%となっております。

なお、前回調査の平成27年度と比較すると、小学校では1.5ポイント、中学校では1.3ポイントの増加となっております。

●県政と船橋市に関するご相談・ご要望をお気軽にお寄せください。

中村みのる 県議事務所

TEL.047(433)4047

FAX.047(433)4024

〒273-0031 船橋市西船4-29-17 ルーラル5番館1F